

修士論文(要旨)
2017年1月

指示詞における日中対照

指導 青山文啓 教授

言語教育研究科
日本語教育専攻

214J3901

袁智

Master's Thesis(Abstract)

January 2017

A Comparative Study of Deictic Expressions in Japanese and Chinese

Yuan Zhi

214J3901

M.A. in Japanese Language Education
Graduate School of Language Education

J.F. Oberlin University

Thesis Supervisor: Fumihiko Aoyama

目次

第1章 現場指示と文脈指示	1
1.1 研究概要.....	1
1.1.1 研究の背景.....	1
1.1.2 調査概要	2
1.1.3 研究対象としての指示詞	3
1.2 現場指示	4
1.3 現場指示の特異性	7
1.4 文脈指示	8
1.4.1 コ系とソ系の機能	8
1.4.2 ア系の機能.....	10
第2章 指示詞から接続詞へ	12
2.1 接続詞の種類.....	12
2.1.1 コ・ソ・ア系が入っていない接続詞.....	13
2.1.2 コ・ソ・ア系が入った接続詞.....	14
2.2 接続詞か指示詞か.....	15
2.3 接続詞か指示詞かを判別する方法.....	16
2.3.1 直前の名詞との修飾関係.....	16
2.3.2 後ろの動詞との関係.....	21
第3章 中国語における指示詞	21
3.1 日中における指示詞の対応関係.....	23
3.2 中国語における指示詞の用法.....	25
3.3.1 コ系と这 (zhe) 系の対応.....	25
3.3.2 コ系と那 (na) 系の対応.....	26
3.4 ソ系・ア系这 (zhe)・那 (na) の対応関係.....	27
3.4.1 ソ系・ア系と这 (zhe) 系の対応.....	27
3.4.2 ソ系・ア系と那 (na) 系の対応.....	29
まとめと今後の課題	32

参考文献

本稿ではまず現場指示と文脈指示の区別について述べる。現場指示と文脈指示の区別から日本語の指示詞への認識を深め、中国人学習者に今までの間違いに気付くようにするためである。

本稿ではコ・ソ・ア系の「ここ」「そこ」と「あそこ」を除き、その以外の「この」「その」「あの」「これ」「それ」「あれ」を研究の対象にする。

日本語における指示詞は三種類あるのに対して、中国語は二種類である。中国人学習者是对应関係がわからないまま、日本語の指示詞を使う傾向がある。日本に留学する以前、中国で日本語を勉強しているとき、「コ」は「这」、「ソ」と「ア」は「那」という対応を教わる。しかし、日本に来てから、日本人と日本語で話すことによって、それまでの指示詞に関する間違いに気づくようになる。

ただ、「あの本、おもしろいですか」の「あの本」は現場指示と文脈指示の両方の解釈が可能である。話し手と聞き手から遠い本を指で指す場合は現場指示になる。現場指示ではお互いに空間と時間を共有している。一方「あの本」を文脈指示になる場合は話し手と聞き手はその「本」についての共有の記憶と知識を持っている。

さらに、現場指示の場合がお互いに同じ空間を共有し指でさすため、時制としては現在のことを指し、人称は第一人称と第二人称に限られる。文脈指示の場合は同じ空間を共有するのではなく、前後の文脈に依存するため、時制であれ人称であれ現場指示とは異なる。時制としては過去と未来に関係し、人称は第一、第二、第三人称ともに使われる。しかし、現場指示には特異性もある。美容院とタクシーの例はその特異性を語るためのものである。

つぎに、指示詞と接続詞の区別および指示詞における日中相違点について論じた。コ・ソ・ア系が入った接続詞は機能が文脈指示と非常に似ているため、指示詞と接続詞とは対照的に論じる必要がある。指示詞と接続詞の区別をうまく把握できないと、コ・ソ・ア系が入った接続詞を指示詞と間違ってしまう可能である。

本稿では接続詞を二種類に分ける。つまり、コ・ソ・ア系が入った接続詞とコ・ソ・ア系が入っていない接続詞である。第2章は主にコ・ソ・ア系が入った接続詞と指示詞を判別する方法を中心に論じる。「直前の名詞との修飾関係」と「後ろの動詞との関係」二つの方法である。

「直前の名詞との修飾関係」の場合は「二つの死体は、どこから見ても情死のそれであった」のように「それ」は前の文の「死体」を指しながら直前の名詞「情死」に修飾されるということである。

「後ろの動詞との関係」の方は指示詞になる場合、何かを指しているのみならず、代名詞になるので、文の動詞に関係が深くあるということである。したがって、それを基準として、文の後ろの動詞との関係があるかどうかによって指示詞か接続詞かを判別することが可能である。たとえば「それに気づいていた」のような例文では、この二格は「気づく」の必須格である。

接続詞にはコ・ソ・アを含む「それに」や「それで」のようなものがあり、このような場合に、指示詞か接続詞かの判別に役に立つのは述語だけである。さらに、指示詞につい

ては接続詞だけではなく、副詞も類似した働きを持つ。本稿では指示詞とコ・ソ・ア系が入った接続詞を論じたが、指示詞コ・ソ・ア系が入った接続詞とコ・ソ・ア系が入った副詞の相違点については述べられなかった。今後の課題は指示詞とコ・ソ・ア系が含まれる副詞とを判別する方法、コ・ソ・ア系が入った接続詞と副詞との相違点について研究を進めたいと思う。

最後に中国語における指示詞について論じる。中国語では指示語を大体三種類に分けている。(1) 空間的 (距離的)、(2) 時間的、さらに (3) 感情的である。どちらも、話し手を中心に使用される。

中国語では中国人使用者は現場指示であれ、文脈指示であれ、話し手を中心とし、指すものが近いと感じる場合は这 (zhe) 系を使うのに対し、遠いと判断する場合は那 (na) 系を使用する。聞き手の領域を考える場合がないわけではないが、日本語に較べれば少ない。中国語の指示詞の場合は主に聞き手の領域を考えず、話し手の判断や感覚を重視する。そのため、こうした母語の影響で学習者の使用する日本語は誤解を招きやすい。

中国人学習者は中国語を母語として使っているが、中国語の文法的な仕組みについては深く理解していない。日本語ほど詳しく把握してはいないと言えるだろう。日本語における指示詞をよりよく理解するには、母語である中国語の指示詞を把握することが重要である。中国語における指示詞の機能を理解すれば、日本語との対照についてもさらに深い理解が得られるはずである。

最後に、「コ系と这 (zhe)・那 (na) の対応関係」と「ソ系・ア系と这 (zhe)・那 (na) の対応関係」について、対照的に論じた。

参考文献

- 庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘(2001)『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- 金水敏・木村英樹・田窪行則(1989)『セルフ・マスタシリーズ4 指示詞』くろしお出版
- 金水敏・田窪行則(1990)「談話管理理論からみた日本語の指示詞」金水敏・田窪行則『指示詞』ひつじ書房(1992)
- 久野暲(1973)「コ・ソ・ア」金水敏・田窪行則『指示詞』ひつじ書房(1992)
- グループ・ジャマシイ(1998)『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版
- 迫田久美子(1997)「中国語話者における指示詞コ・ソ・アの言語転移」『広島大学日本語教育学科紀要』7pp.63-72
- 阪田雪子(1971)「指示語「コ・ソ・ア」の機能について」金水敏・田窪行則『指示詞』ひつじ書房(1992)
- 高橋太郎(2005)『日本語の文法』ひつじ書房
- 富田隆行(1991)『表記・教師用日本語教育ハンドブック』平凡社
- 堀内萌(2015)「ア系指示詞の性質—観念指示用法と現場指示性との関係から—」『筑波応用言語学研究』22pp.52-65
- 堀口和吉(1978)「指示詞の表現性」金水敏・田窪行則『指示詞』ひつじ書房(1992)
- 益岡隆志・田窪行則(1992)『基礎日本語文法』くろしお出版
- 胡俊(2010)「文脈指示における日本語と中国語の指示詞についての対照研究—論説文の場合—」『地域政策科学研究』7pp.127-138
- 江天(1980)『現代漢語語法通解』遼寧人民出版社
- 史隼(1992)「日中指示詞の対照研究」一橋大学大学院言語社会
- 呉人恵・芦英順・加藤重広(2005)『指示詞の対応用法に関する日本語と中国語の対照研究』富山大学人文学部出版